

# 平成27年度 村上 学校保健部 活動報告

部長 平 久美子

## 1 研究主題

児童の「生きる力」を育む学校保健活動の充実をめざして  
～健康相談活動における個別事例への対応評価～

## 2 研究の概要

養護教諭が行う健康相談のプロセスにおいて、初期診断（判断）、初期対応過程について自己評価を行い、健康相談における養護教諭の実態を調査し、課題を明らかにする。

## 3 研究・活動の実際

- 4月 第1回部会 … 活動の方向性について
- 5月 第1回地区代表部員会 … 事業計画立案
- 6月 第2回部会 … 研修・研究内容の確認
- 7月 第3回部会（研修会）
  - ・『今、養護教諭が行う健康相談について考える』
  - 講師 スクールカウンセラー（元村上桜ヶ丘高校 養護教諭）  
佐藤 さよ子 様
- 9月 調査（期間9月1日～9月30日）
  - ・頭痛、腹痛の訴えで保健室に来室した児童への初期対応について自己評価用紙に回答する。各校7例程度提出。
  - 【主な評価項目（12項目）】
  - ①問診 ②観察（行動・態度・表情）③バイタルサイン ④触診的手法
  - ⑤検診等の結果の活用 ⑥心身の医学的知識 ⑦保健室の施設・設備
  - ⑧保健室の図書・掲示物 ⑨保健室の環境空間
  - ⑩スキンシップ・タッチング ⑪視線の位置・声の大きさ等の配慮
  - ⑫傾聴的な態度の応用技法の活用
- 10月 集計
- 11月 第2回地区代表部員会 … 集計結果分析・考察・課題の明確化等
- 2月 第4回部会 … 集計結果の共有

## 4 成果と課題

### (1) 成果

児童が訴えてきた身体症状に対する初期診断（判断）、初期対応過程の自己評価による調査の結果、問診、観察、体温測定、保健室の施設・設備、スキンシップ、対応位置、対応技法について、ほぼ適切に行っているという結果であったが、バイタルサインの中で呼吸・脈拍・血圧の評価が低かったことや触診に対する評価から、経験や勘による判断が多く見られ、フィジカルアセスメントが曖昧であることが分かった。

### (2) 課題

児童が訴えてきた身体症状に対して器質性疾患を見落とさないために、フィジカルアセスメントについて研修し、的確な診断（判断）力の向上が必要である。